

# 実況中継「土曜講座」

第2号

2023年5月29日発行

市川学園 5月6日の土曜講座 於 北館1F 多目的ホール

高橋 一也 先生

## 印刷技術から AI まで

～テクノロジーは『学び』をどのように変えるか～

神田外語大学客員講師

2016 年度グローバル・ティーチャー賞日本初トップ10



### 高橋一也先生のご紹介

慶應義塾大学大学院をご卒業後、米ジョージア大学教育大学院にて授業デザイン法を学び、全米優等生協会に選出。帰国後、都内私立学校英語教諭として勤務。2016 年度から 2019 年度まで工学院大学附属中・高の教頭を務め、2016 年には教育界のノーベル賞といわれる「グローバル・ティーチャー賞」のファイナリスト 10 人に日本人と初めて選出されました。2021 年 4 月から神田外語大学客員講師、株式会社 Laboro 教育事業最高責任者、AFPBBNews 教育事業アドバイザー、ELSA Speak ラーニングデザイナー、香里ヌヴェール学院理事長特命を兼務され、多方面で活躍をされています。

### 主な講義内容の紹介

- ーさあ今からそのレゴブロックを組み立てて「アヒル」を作ってみよう！
- ーここに「おたま」があります。汁を掬う以外にどんな使い方があるか。自由に考えてみよう！
- ー鉛筆の筆記用具として以外の使い道は？

高橋先生は 90 分の講義の中で様々な問いかけを生徒に投げかけます。「おたま」の問いでは「近くの人と話し合ってみてもいいよ」そして「鉛筆」の問いでは「今度は席を移動してもいいよ」と高橋先生からのアドバイス。じっと座って一人で考えるより、体を動かし他者と対話しながら考えることより豊富なアイデアが出ることを生徒たちは実感しました。教え合うことの重要性、自分がわからないことを友人に素直に聞く力をつけよう。高橋先生は大切なことを次々と教えてくださいました。こうした体験型の講義に生徒たちはイキイキとした表情で臨んでいました。さらに「鉛筆」の問いが医学部で出題された問題であることに生徒たちはびっくり。テクノロジーを通じた学びの重要性、一例として AI による発音チェックの実演も生徒たちに大好評。【自分軸を作る／自分で「場所」を決める／「知識」を生かす】これらのメインテーマを軸とした体験型講義から生徒たちはたくさんの気づきを得たことと思います。

### 受講レポートから



- ・入学後初めての土曜講座でわからないことばかりかと思っていましたが、とてもわかりやすく、また帰国子女で周りと一緒に合わせることを強く意識していた私には、とてもためになる講演でした。(中1)
- ・数学はあまり好きではないが、少しはやっておこうと思った。そして普段の授業で考えることをきちんと続けていくことが大切だと思った。環境を意識して変えてみる。(中2)
- ・自分には突出した強みがないと思っていただけ、今日の先生の講演を聞いて、No.1を目指すのではなく、自分の強み・得意なことを組み合わせて Only 1 を目指したいと思いました。(中2)
- ・とても楽しくためになる講演でした。レゴブロックを使ったり、入試問題を解いたりしたので、内容に壁を感じずに受講することができました。特に印象に残ったのは「環境によって思考されている」という内容です。確かに電車の座席やコンビニの並ぶ列の矢印から無意識に体が動いてしまいます。それだけ環境というのは大事なのだなと思いました。(中3)
- ・普段自分が考えている悩みとかに答えてくれているような講演で聞いてよかったです心の底から感じました。例えば Only 1 になると言っても具体的にどうやって？という思考が浮かんでわけがわからなくなっていたのですが、「自分の持っているものを組み合わせる」という言葉聞いて夢という希望を持つことができました。今日のお話をもとに自分でこうすべきとかこうしたいとかを考えて生活してみようと思いました。(中3)
- ・勉強におけるアドバイスなどを丁寧に教えてくれて大変役に立った。また生徒に積極的に発言させるなど眠くならない講義だった。勉強において場所・環境がとても重要だと感じた。生きる上で大切なことを教えてもらった気がしてとてもよかったです。英語はとにかく音を聞いて読む!!!(高1)
- ・社会に出る際に役に立つ知識や効率的な方法だけでなく、夢を見ることの大切さというのを学校という場で学べたのは有意義だと思った。自分のためだけに動き続けるのは無理があり、できたとしても損得だけを考える人生が空虚だと感じた。しかし実利というのも決して無視はできないし、それと同じくらい他者への貢献というのも大事だと感じた。(高1)
- ・レゴを使って自分で考えてアヒルを作り、人によって受け止め方が違うということを実感しました。正解なんてなくて、それぞれ作ったものにバラエティがあり、メタ認知能力の大切さがわかりました。立ち歩いて考えたり、周りの人と話し合っってアイデアを出したりすることで想像力を働かせることができました。水平思考と論理的思考を発達させるために、普段から考え、疑問をもつことが大事だとわかったので、身の回りのものについてよく考えようと思いました。学校などで日々学び、言われる通りのことをするだけでなく、自分のやってみたいことを追求しつつ大人になることを心掛けようと思いました。支えてもらった人と経験・知識を共有し、感謝できるような人になりたい。(高2)
- ・今回高橋先生の講演を聴いて改めて考えさせられることばかりでした。私は来年受験生になり、進路について考えなければならなくなってきています。もちろん自分の学力や性格に向き合うことも大切だけど、一番は自分のやりたいことについて考えるべきだなど感じました。友達や先生などに協力してもらいながら学びつつ、自分らしさや自分しかできないことを見つけて自信につなげていけばいいかなと思いました。高校生のうちからしか悩めないことだと思うので、「No.1 ではなく Only 1」という自分を大切にすることを忘れずに生活していきたいです。(高2)
- ・本日は貴重なお話を聞くことができ、高校最後の土曜講座として最高のものになりました。ELSA というアプリの素晴らしさや野生のマインドセットをもつことの大切さをわかることができました。新しい強みをもつことの大事さも知り、自分で見つけていくことが自分の将来のためにももちろん大事だなど思いました。また色を変えるカメレオンタイプではなく、周囲に溶け込んで自分をしっかりと持つシマウマタイプになりたいと思いました。そして、体を動かすことや場所によって考え方を変えることができるのもすごいと思いました。(高3)
- ・自分の強みの活かし方の話がとても響きました。市川に入ってから No.1 になれるものってないし、No.1 だけでなく自分が優れていると感じることが少なく、でも講演を聴いて、Only 1 のものを探せばいいのだと納得しました。自分の強みを混ぜ合わせること自体難しいことだと思うけれど、これから探していけばいいと思いました。また今まで他者の顔を窺って自分の気持ちを隠してしまいがちだったけれど、自分の環境に合わせてではなく、自分で選んで動くことができたならそうする必要はないとわかりました。(高3)

